



手話で歌も歌えるよ

少年少女ふるさと学習の8回目の活動が1月13日、中央公民館で行われました。この日は千代田町の手話サークル「山ゆりの会」から6人を招いて、手話を学びました。

耳が聞こえない方が、手話を使って自分のことを話してくれたことに、子どもたちは感動を受けました。また、手話で歌を教してもらい、声を出さなくても歌えることを体験しました。

手話を通じて、子どもたちは、ハンデキャップを背負った人たちと共に助け合い、相手を思いやる心の大切さを知りました。



できることから始めよう

皆さんはボランティアという言葉から、どんなことを思い浮かべますか。「善意」とか「奉仕」や「犠牲」、あるいは「何か特別なことをしなければならぬ」と思っているかもしれません。でも、ボランティアはそんなに難しいことではなく、日常の身近なことから「いつでも、どこでも、だれでも」できるのです。今月は身近なボランティア活動を紹介しながら、ボランティアについて考えてみました。



葦穂保育所の子どもたちは手づくりのプレゼントをお年寄りに手渡しました

今、必要とされるボランティア

一般にボランティアというと、障害者やお年寄りの手助けをする人だけを指すと思われるがちです。そのため、ボランティア活動は暇がないとできない」とか、「特別な技術が必要ではないか」などと考えられ、「ボランティア活動は大変だ」と特別視される傾向にあります。

でも、ボランティア活動とは、決して特別な活動ではありません。皆さんが、身近でできることなかにもボランティア活動に当たるものがたくさんあります。

例えば、地域の清掃、献血、使用済みの切手集めなども立派なボランティア活動です。その他、バスのなかでお年寄りに席を譲るなど、当たり前の思いやりや優しさがボランティアの基本です。

今までとちよつと視点を変えてボランティアについて考えてみると、きっと皆さんもボランティア活動をしたことがあったり、現在

ボランティア活動をしていることに気づくかも知れません。

また、全国的な傾向として、年々ボランティア活動をする人が増加しています。その理由として、

第一に、学校などで地域の清掃活動といったボランティアを経験したことのある人が増えていることがあげられます。一度経験したことでボランティア活動への理解が深まり、関心が高まるからです。

第二に、余暇の増大があげられます。生活水準の向上や週休二日制などで、今までよりボランティア活動に時間を割きやすくなってきたと思われるからです。

これらのほかにいくつかの理由は考えられますが、最大の理由は、ボランティア活動が必要とされていることではないでしょうか。

ボランティア活動はどこでも活発になっていますが、それ以上に、それを必要としている人や場所が増えているのも確かです。

私とボランティア

人の輪を

広げていきたい



比氣 たまさん
小堀・65歳

平成七年の十一月にボランティアグループ「たんぼの会」を結成しました。会員は女性ばかり二十人です。

グループ結成のきっかけはこれからの高齢者時代に向けて、何かできないかと思いついたからです。結成して間もないので、何をどうやろうかといういろいろ検討しているところです。

そこでちよつと話し合ったんですが、「愛のひと声運動」をしようという話が出ています。これは一人で歩いているお年寄りや子どもに会ったら、何かひと声話し掛けていこうというものです。これをきっかけに人の輪ができたと思います。ご近所にひとり暮らしのお年寄りがいたら友達になるなど、皆さんと楽しみながら、輪を広げてい

現在、町のボランティア活動は

八郷町のボランティア活動は、どのように行われているのでしょうか。ボランティア関係のことは八郷町社会福祉協議会が担当しています。現在、社会福祉協議会に登録しているボランティア団体は二つ。ひとつは「つくしんぼの会」として四年前に発足。二十八人が所属し、おもに老人ホームへ訪問しての手伝いや、ひとり暮らしのお年寄りへの給食サービスの手伝いなどを行っています。

もうひとつは昨年十一月に結成されたばかりの「たんぼぼの会」です。女性二十人のボランティアグループです。まだ具体的な活動はしていませんが、これからの活動が期待されます。

また、ボランティア協力校として園部中学校の生徒の皆さんが、昨年からはボランティア活動に取り組んでいます。リサイクル運動や地域の清掃、病院・老人ホームなどの施設訪問も行うようになりました。

このようにして八郷町のボランティア活動は行われていますが、まだまだ活発とは言えません。しかし、平成八年度から



お年寄りのリハビリを手伝う園部中の生徒

は地域ケアシステム事業がスタートする予定です。これは、援護を必要としている高齢者や障害者(児)等一人ひとりに対して、保健婦やホームヘルパー、民生委員、かかりつけ医などの直接的なサービス担当者が在宅ケアチームを組み、役割分担と連絡を図りながら的確で効率的なサービスを行っていく事業です。もちろん地域やボランティアの協力も大切な要因です。これを期にボランティア活動の活発化が期待されます。ボランティアに関してのお問い合わせは八郷町社会福祉協議会(☎四三二一一一内線一九二)へどうぞ。それでは、次に身近なボランティア活動を紹介してみしましょう。

ひとり暮らしのお年寄りに 温かいお弁当を



町と社会福祉協議会ではひとり暮らしのお年寄りに、温かいお弁当を届ける給食サービス事業を行っています。今年度は十二月・一月・二月に行い、三月にも行う予定です。

この事業にも、ボランティアの協力が不可欠となっています。

ボランティアグループ「つくしんぼの会」は、四年前から給食サービスの配達に協力しています。

取材をさせていただいたのは一月十八日。この日は百四十人にお弁当が配られます。当日、老人ホーム「やさ」と調理された献立は、「つくしんぼの会」の皆さん、社会福祉協議会の職員たちが手際よくバックに詰めていきます。こ

の日の献立は煮魚、きんぴらごぼう、ほうれんそうのごまあえなどお年寄りの好みを考えて作られました。また、今回、柿岡小学校の子どもたちからの手紙が添えられています。そして、温かいうちにと、車七台を使って、それぞれのお宅に届けに行きました。

馴れない場所を地図をみながらの配達なので、何度か途中で目指す家を探ねました。お宅に伺ってお弁当を渡し、「お変わりありませんか、お弁当を届けにきました」

「お元気で」などお年寄りの近況を尋ねながら、会話を交わします。このお弁当には、作った人、配った人などたくさんの方々のまごころが詰まっています。



重野 三郎さん
柿岡・59歳

きたい。「人を幸せにする幸せもある」をモットーに会員を増やしていきたいです。

さまざまな方と 知り合いに

会社を退職後、自然環境にひかれて八郷町に住むようになりました。以前からボランティア活動に興味があったので、「つくしんぼの会」に入会しました。ボランティアをするきっかけを簡単にいいますと、自分の幸せは自然や人のめぐみを受けてのものなので、少しでも世の中の役に立とうと思ったからです。ボランティアをしていて良かったことは、さまざまな方々と知り合いになれ、世界が広がったことです。

ともすればボランティアは暇とお金がある人がやるものだと思われがちですが、決してそうではなく、誰でもできることだと思っています。ぜひ、ボランティア活動を体験してみてください。

歌や踊りで お年寄りとふれあう



横室雛子保存会の皆さんによるお囃し

小倉に特別養護老人ホーム「やさ」と「が」ができて以来、ボランティアでここを訪れる人が増えてきています。

ことしになってからは、一月七日の新年会に、柿岡下宿の横室雛子保存会の皆さんが獅子舞やお囃しを、大正琴「のぼら会」の皆さんなどが演奏を披露し、お年寄りに喜んでもらいました。

また、一月十七日には華穂保育所の子どもたち三十七人が訪れ、日ごろ練習したお遊戯を披露しました。お年寄りから、かわいい踊りに盛んな拍手が送られていました。その後、子どもたちから手作りのプレゼントがお年寄りの皆さん一人ひとりに手渡されました。

私にもできる こんなこと

献血

16歳から64歳までできます。献血のときには、検査がありますので、健康管理にも役立ちます。平成7年度に八郷町では308人が献血しています。

*お問い合わせは役場保健室へ

☎43-6655

使用済みテレホンカード

使用済みテレホンカードで、アジアの恵まれない子どもたちに、食べものや薬を送ることができます。日本のテレホンカードは、ヨーロッパ各国の収集家の間では貴重品で、売却するとカード1枚で20~30円の価値があるからです。

*お問い合わせは社会福祉協議会(役場内)へ☎43-1111 内線1191

使用済み切手

アジアやアフリカの子どもたちを結核から救うB・C・Gなどの費用になります。切手は周りを5ミリ以上残して切ってください。

*お問い合わせは社会福祉協議会(役場内)へ☎43-1111 内線1191

私たちの まちをきれいに



朝日土地改良区では毎年水路の清掃を行います

身近なボランティアとして、地域の清掃、道端に花を植えることなどがあります。行政区ごとなどに、その地域の清掃や草刈りなどを定期的に行っているところも多いのではないのでしょうか。

また、八郷高校のボランティアサークルでは校内のごみ拾いはもちろんのこと、昨年は上曽峠のごみ拾いを行いました。

私は八郷高校のボランティアサークルに入っています。



小林貴美子さん
八郷高校3年

サークル活動を通して

私のボランティア体験

かったのは、上曽峠のごみ拾いをしてたときに車で通る人が励ましてくれたことです。人に喜ばれるとこのサークルに入っていて良かったと思います。

老人ホームを訪問して

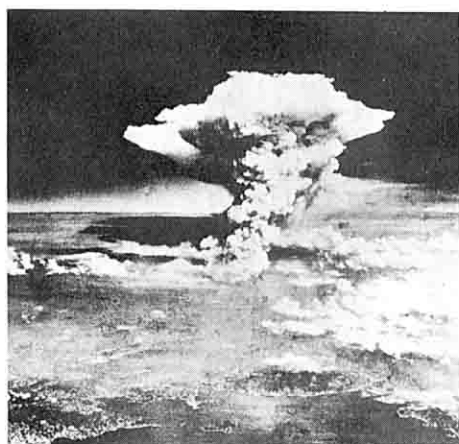


安達 梨江さん
園部中学校2年

この間、石岡市の軽費老人ホーム「ハウス・デア・ゼーレ」を訪ねて、お年寄りの話し相手をしたり、部屋をまわってゴミを集めたりしました。

お年寄りが一生懸命私に話し掛けてくれ、とても喜んでくれたので、訪問して良かったです。

平和への願いを込めて3月17日開催



原爆写真パネル「巨大な原子雲」

平和を考える生涯学習のつどいが三月十七日(日)、中央公民館で開催されます。

ことしは戦後五十周年の節目にあたり、これを機会に改めて平和について考えてみようといわれるものです。

それに先駆けて、三月の四日から十七日までパネル展示公開が行われます。広島平和文化センターから、原爆の被害の様子を生々しく伝える広島・長崎原爆写真パネルを二十枚借りて、役場庁舎内に展示します。また、茨城県平和委員会からは、「本土決戦と茨城のパネル」を十四枚借り、中央公民館内に展示します。

十七日当日は、十時からビデオ映画「広島・母たちの祈り」が上映されます。これは母なる広島島の視点から核兵器の廃絶と平和の尊

さを訴える記録映画です。貴重な映像をぜひご覧ください。

続いて、皆さんから募集した戦時体験作文や小中高校生の作文発表が行われます。

午後からは早乙女勝元さんによる記念講演「戦争の悲惨さと平和の尊さ」が計画されています。早乙女さんは庶民の生活と愛と平和を書き続ける下町の作家で、この講演で二度と繰り返してはならない戦争の悲惨さを訴えます。少しでも多くの方に聞いて欲しい講演です。

その他の催しとして、町内から集めた八郷町の戦時中を物語る貴重な品々が展示されます。

また、十時から無料でどっつんまめの配布があり、十一時からはいいとんの試食もあります。ぜひ食べてみてください。

そして閉会後は、

参加者全員にイベントくじがありますので、お楽しみに。

戦争の悲惨さを認識し、改めて平和の尊さを考えるため、皆さんお誘い合わせの上、お友達やご家族と一緒にご参加ください。皆さんのご来場をお待ちしています。

改選後初の議会臨時会

議長に島田氏

副議長に上田氏選出

八郷町議会議員改選後の初議会が、一月九日に開かれました。

この中で、正副議長の選出があり、議長に島田重郎氏(68)、副議長に上田孝之氏(68)が選ばれました。また、各常任委員会や一部事務組合関係議員の構成については次のように決まりました。

◎委員長◎副委員長(敬称略)

〔総務委員会〕◎入江貞一

○中村茂夫 谷島博久 塚谷和幸 吉川勇 伊藤昌次郎 島田重郎

〔教育民生委員会〕◎大場俊之

○嶋田佐登子 岡崎忠 中村武子 本多良一 飯村嘉男

〔産業土木委員会〕◎鬼沢隆

○岡崎勝巳 川又紀征 鈴木米造 鈴木光雄 上田孝之 山田保

〔議会運営委員会〕◎吉川勇

○伊藤昌次郎 大場俊之 鬼沢隆 中村茂夫 入江貞一 鈴木光雄 山田保

一部事務組合関係議員

▽新治地方広域事務組合 谷島博久 鈴木米造 入江貞一 上田孝之

▽石岡地方斎場組合 嶋田佐登子 大場俊之 塚谷和幸

▽湖北環境衛生組合 本多良一 吉川勇 山田保

▽石岡地方農業共済組合 飯村嘉男 岡崎勝巳 鬼沢隆 中村茂夫

▽石岡地区営農研修センター 川又紀征 鈴木光雄

▽土浦石岡地方社会教育センター 岡崎忠 伊藤昌次郎

▽霞ヶ浦病舎組合 中村武子

最優秀賞



兄ちゃんとの思い出

有明中学校一年 富田 悠介

その日は日曜日。僕は兄ちゃんと近くの川で遊んでいた。僕は兄ちゃんと遊んで大はしゃぎ。土手の所で跳びはねたりくつをぬらしながら川を渡ったりしていた。

兄ちゃんは僕より七つ年上。普段は、あまり遊んでくれないが僕は兄ちゃんが大好き。遊んでくれる時には時の過ぎるのを忘れて遊

びにぼっとうしてしまふのだ。兄ちゃんが土手を飛び越えて向こう側に渡る。僕も後を追う。

「あつ、悠すけ！」

兄のさけび声とともに、僕は足をふみはずしてしまい、土手を転げ落ちてしまった。ごろんごろん。体が土手の下まで転げ落ち、静止した時、自分ではどこもけがをし

ていないと思った。僕はすくっと立ち上がった。僕を見た兄の顔は青白く、口をバクバクさせていた。

僕はその場の状況が良く分からず変な気持ちだった。なんだか右ほほに見えない物がくっついてるような気がする。

しかし、自分で右ほほを見ることはできない。青白い顔をした兄が僕の右ほほに近寄った。

僕の右ほほを確認した兄は一段と青白くなった。

「ぼ、棒がささっている」

兄はかなりあわてている。兄の心配をよそに僕はきょとんとしていた。

その時、兄ちゃんがこう言った。

「悠介、今抜いてやるからな。」

「ブシュ」

棒を抜いた瞬間、姿を現した紅い血。兄の手には真っ赤に染まった十五センチメートルくらいの木の枝がにぎられている。それを目にした僕は、急に痛さがこみ上げてきて泣き出してしまった。兄ちゃんはそんな僕を背負って、一生懸命家に向かって走り出した。

「悠介、大丈夫か」

と言いながら。

すぐにお母さんが病院につれて行ってくれた。お医者さんに、

「大丈夫ですね。しかしもう少し深く刺さっていたら、失明してしましたよ」

と言われた時、僕はぼっとうして

優秀賞



ここからありがとう

吉生小学校一年 ながいみほう

わたしは、一がつきのどうとくであいさつについてペンきょうをしました。「あさのうた」というおはなしをよんで、みんなてじぶんがおもったことやかんがえたことをはつびょうしたのです。

このおはなしにでてくるびよん子ちゃんはおかしくてあいさつがよくできる女の子です。せんせいにもともだちにもかそくにも、じぶんからげんきにあいさつします。

わたしは、あいさつをするたびよん子ちゃんみたいに、いつもえがおでがっこうへいけるんだなおもいました。それまでは、ちょっとはすかしいなとおもって、小さなこえしかでませんでした。

それからは、大きなこえであいさつができるようになりました。

あいさつをするとうれしくなつて、どんどんいいたくさんあります。

いろいろなあいさつがあることもわかりました。オアシスうんどうのことも、せんせいからきいておぼえました。わたしが、いま、一ばんたのしみにしていることは、やすみじかにあそぶてつぼうです。それは、いままでできなかった

たさかあがりとおしあけあがりができるようになったからです。

なぜできるようになったかというともだち二人がおうえんしてくれただけです。わたしは、そのとき、うれしくてうれしくて「ありがとう」となんかいいいしました。ともだちが、かんとんにそっやっているてつぼうが、わたしには、なかなかできませんでした。もうやめようかなとおもっていた

らなおみちゃんとめぐみちゃんという二人のともだちが、おうえんしてくれたのです。なおみちゃん、じぶんでさかあがりをするなら「あしをぐうんとあげてみるといいよ」とおしえてくれました。

そして、わたしがやっているてつぼうのそばで、あしをもつてくれたりおしりをささえてくれたりして、あせをかきながら、なんかいもてつだつてくれました。めぐみちゃんも、「こうするといんだよ」といいながら、「もうすこしだよ、きつとできるよ」と、もんくはせんせんいわないで、ずつとそばにいて、おしえてくれました。わたしは、ふたりのともだち



優秀賞

小さな一言から

園部中学校二年 阿久津 美紀

「おはようございます」

私の朝はこの一言で始まります。

私は、全校生徒の安全を校門の前で点検している、安全委員会の一員です。私は、毎週水曜日が当番になっています。校門の前に立ち、登校してくる生徒のみなさんに、「おはようございます」

と、元気にあいさつをしています。すると、ほとんどの人が元気にあ

いさつを返してくれます。その朝

の元気なあいさつは気分を一新させ、とてもさわやかな一日のはじまりとなるのです。

安全委員会に入ろうと思ったき

っかけはこの元気なあいさつを聞きたいためでした。同学年であっても全員にはとても声をかけ合うことができません。上級生や下級生ならなおのことはなすことなど

なかなかありません。週一回であつてもあいさつが唯一の会話になることもあるなあと思うこともあります。

「おはようございます」

この一言がみんなとのきずなを深めていく大事な言葉だと私は思います。

「ありがとうございます」

「しつれいします」

こんな小さな一言にも、いっぱい気持ちがあふれている。まわりくどい言葉で言うよりもこんなふうに、何気ない言葉で通じあえることができるんだなあ、と思いました。それになによりも自然に言葉

を交わせる第一歩になっているのです。

もう一つ、私にはうれしい思い出があります。二、三年前、私は一人のおばあさんに会いました。おばあさんは足が不自由でした。

「おはようございます。いい天気ですね」

その時、私は、少しでも何か役に立つことはないかと思つて、そのおばあさんに声をかけました。

すると、おばあさんは泣きながら私に話を始めました。おばあさんは最後に、

「ありがとうございます」

と、何度も私にお礼を言っていました。

した。たった一声をかけたただけなのに、こんなにもお礼を言われることになるなんて思つてもみませんでした。話の内容は覚えていませんが、あの時の「ありがとうございます」は忘れられない思い出となりました。

全く知らない人と私の「おはようございます」がいつまでもあの時の心と心を交わすきっかけになったのです。もしかしら、この時の思い出が安全委員会の仕事を選ばせることになったのかもしれない。これからあの時の気持ちを忘れずに、委員の仕事に励んでいきたいです。

十月十日、体育の日に夫と八時

二十分のバスにのりこみました。

その日は祝日の為か車内は込み合っていました。中学生くらいの子供さんが十人位のついででしたが、皆で声をそろえて席を立ち「どうぞ、おかけください」と言ってく



優秀賞

有明中学校の生徒さんありがとう

柴間七三 杉山 はつ

れました。その態度はごく自然で爽やかでした。学校をお聞きしましたら有明中とのことでした。

車は中学生のほがらかな声をのせて走りました。席をゆずられた

事が今までにあまり無かったのですね。私には思はず「皆さん、いい生徒さんですねえ」と言いますと即座に「ありがとうござい

えってきました。美しい声音でした。今時の子供にしては珍しいと感動した私でした。普段この言葉を使いなれていなければ、この様に言えるものではありません。

私はいつも「今の若者達人間として一番大切な礼儀をしらない。思いやりの心をもつ感謝する」という事をしらない」と老人の繰り返言を言っていたのです。八郷町にはこんないい若者がいたのです。

ありがとうございます。水戸までの電車の

中自分があの年の頃に人から「ありがとう」と言われた事があつたであろうか。久しく思い出す事

なかつた少女時代を思い出したが私にはあまりなかつた。親切心が乏しく、わがままな行動が多かつた

自分の子供時代を思い出した私は、これからは若い人に甘える事なく、席をゆずってくれなくとも若い人も疲れているのだ。その人等のお

かげで年金も頂けるし、医療費も月千十円で済むのだ。ありがたい事だと思つたように考えた。

また、立つたままどこまでも行ける八十一歳の夫の体に感謝しなければとも考えました。

バスの中の中学生は私にいろいろな事を反省させてくれたり思い出を作ってくださつた。

私も年を重ねる事七十四回。人生の終着駅も近くなつて人としての価値は礼儀を守つて行つ所にあるという事が分かつてきました。

挨拶は礼儀の始まりです。私は論語や漢詩が好きで毎日読んでいますその中には「仁」という字がよく出てきます。仁とは道

徳の境地です。真の愛です。思いやりです。慈しみです。相手の心になる事です。

「仁遠からんや。われ仁を欲すればここ仁いたる」と論語にあります。仁とは大変遠い所にあるのだらうか。いいえそうではない。

自分が仁を欲していると向こうから仁がやってくるという教えです。有明中のあの時の方々よ。いつ

いつまでも今の心を忘れずに社会の基本的なルールやけじめを強く守り、人に迷惑をかけない。責任を重んずる、己の欲しない事は人

にはしないこと。おのれに勝つこと。これらを守ってください。ありがとうございます。

シリーズ 元気はつらつわれらの先生 ⑬

命のパワー生み出す教育を



安村英樹先生

「このころは、いろいろな活動や体験を通して、生きている喜び

を感じるような教育が大切だと考えています」今月お訪ねした安村英樹先生は、いまの教育への気持ちをこう語っていました。

安村先生は、林小学校六年二組担任、東茨城郡茨城町出身です。バイタリティーのある先生に林小の期待は大きいようです。

趣味は音楽や映画鑑賞、スポーツはテニス、スキーを得意としてテニスはクラブに入って週一回夜間練習に通っています。

先生は、「これまで、小中課程の教育では、いろいろなことを感じ取る豊かな心、学び取る力を育てることが大切であると考えてきました。いまの状況からみると、学校の間でも、自分が生きている



林小学校6年2組のみなさん

喜びが感じられること、そのためにはただなんとなく生活するのではなく、汗を流して何かができた満足や達成した喜びによって、生きていくパワーを生み出すような教育も大切だと考えています」と熱い気持ちで語ってくれました。

Q 喜びが感じられること、そのためにはただなんとなく生活するのではなく、汗を流して何かができた満足や達成した喜びによって、生きていくパワーを生み出すような教育も大切だと考えています」と熱い気持ちで語ってくれました。

Q 先生はどんなことに厳しい。先生は生きている喜びが感じられようという点について、朝の話のなかで説教があります。

Q クラスの目標などは、それは、卒業を前に達成されるそうですか。

Q 先生へのお願いなどは、A 持ち前のバイタリティーを生かし、結婚をめざして頑張っています。

Q 先生へのお願いなどは、A 持ち前のバイタリティーを生かし、結婚をめざして頑張っています。

町長と

ひざを交えて



一月二十二日、高齢者センターで高齢者学級が開催され、町長が講師になって約一時間ほど講演を行いました。講演の中で町長は、施策の説明後、亡父の人柄やありし日の家庭生活での姿など顧みながら、いまの心境を、「亡くしてはじめて親の有り難さが分かりました。みなさんの子供さん方も、いくつになってもみなさんに元気でいて欲しいという気持ちでいられること」と思っています。お年寄りがしっかりと座っている家庭が理想的

な姿であると思いますので、いつまでもお元気にお暮らしください」と話していました。



百寿会役員と谷仲覚雄さんの百歳達成祝賀会

「百寿会の名付け親の故郷地萬之助会長がうちに私たちに「諸君、何としても百まで生きよう」と話していました。その会長は思いならず九十七歳で他界しました。私は会長の言葉通り、何がなんでも百まで生きるんだと肝に命じて、悠々自適の中にも健康管理に努めてきました」とお礼を込めて百にこだわった気持ちを語っていました。

興会 振育 教育 大

バランスのとれた 教育の推進めざす



第1部で行われた各部門の表彰

八郷町教育振興大会が、二月四日中央公民館で開催されました。町の未来を託す人づくりをめざして、学校教育をはじめとして、生涯学習、社会体育などバランスのとれた教育の推進を図ることを目的に教職員はじめそれぞれの分野から約四百名が参加しました。

大会の第一部では各部門の表彰があり、寄付などを通じ教育の発展に尽くされた方や優良教職員、各分野で顕著な活動が認められた

個人、団体などがそれぞれ表彰され、環境美化啓発の作文コンクールで文部大臣賞に入選した長谷川淳一君（園部中三年）らが受賞しました。また、町が進めているオアシス運動に関する作文、標語を募集、優秀作品に選ばれた方の表彰も行われました。第二部では「二十一世紀の宇宙開発と日本の子供たち」という演題で、的川泰宣氏（文部省宇宙科学研究所対外協力室教授）の講演がありました。

オアシス作文や標語の入賞者は次のとおりです。

オアシス作文入賞者

最優秀賞 「兄ちゃんとの思い出」

富田悠介（有明中一年）

優秀賞 ▽「ここからありがとう」永井美芳（吉生小一年） ▽「小さな一言から」阿久津美紀（園部中二年） ▽「有明中学校の生徒さんありがとう」杉山はつ（一般の部・柴間）

優良賞 ▽本多克弥（園部小二年） ▽真原理恵（東成井小五年） ▽菱沼沙央

オアシス標語入賞者

最優秀賞 青木利一（一般の部・山崎）

優秀賞 ▽藤田浩和（小幡小五年） ▽石井久美子（園部中三年） ▽川保洋（一般の部・山崎）

優良賞 ▽田口文子（園部小五年） 山田由加里（東成井小五年） ▽市村育生（瓦会小六年） ▽萩原範行（林小六年） ▽柴山清佳（恋瀬小六年） ▽田中弘美（葦穂小五年） ▽菅谷友美（吉生小六年） ▽岩崎哉江（柿岡小六年） ▽木村真弓（小桜小六年） ▽関智子（朝日小六年） ▽長谷川記章（有明中一年） ▽額賀聡史（柿岡中一年） ▽富田幸子（南中三年）（優秀作文は六・七ページに、標語は十二ページに掲載しました）

●最近気になる病気

「脳卒中」

石岡市医師会病院

内科 後藤

厚医師



脳の血流障害によって脳の一部が壊れて、手足の麻痺や言語記憶の障害などが急激に起こることを脳卒中といいます。脳卒中の原因にはいろいろな病気がありますが、脳出血（脳溢血）と脳梗塞がその代表です。

脳出血は、脳の中でも比較的細い血管が破れて出血し、流れた血液が固まって周囲を圧迫することにより脳の一部が壊れ、急激に麻痺や意識障害が起こる病気です。日中の活動時に発症することが多く、原因のほとんどは高血圧によるものです。動脈硬化でも弱くなっている血管が、高い血圧に耐えられずに破れて起こるためなので血圧のコントロールには十分気をつけましょう。

寒さで血管が縮まり易い冬は、特に注意が必要です。また、四十代、五十代の働き盛りと言われる年齢の人は高血圧に無関心で気付かなかったり治療を怠る

ことが多く、むしろ危険です。脳梗塞には、脳血栓と脳塞栓という二つのタイプがあります。脳血栓とは、脳動脈硬化で血管の内側が狭くなり、そこへ血の塊（血栓）ができて血液の流れがせき止められると、脳の一部が壊れて半身麻痺などの症状が現れる病気です。脳血栓の症状は、脳出血に比べて緩やかで、しばしば夜間の睡眠中に起こります。

脳血栓の原因には、高血圧・糖尿病・高コレステロール血症などがあげられますので、まずこれらの治療をすることが予防のために重要です。

心臓の病気（心房細動など）のため、小さい血栓が心臓の壁にでき、これがはがれて脳の血管にまで流れていき、脳血管が詰まってしまふのが脳塞栓です。

脳出血や脳梗塞の前ぶれは、日頃の健診でかなり発見することができますから、健診は必ず受けるようにしましょう。

いきいき

グループ活動

(20)

ダンスで若さと健康を保つ

八郷社交ダンス同好会

当会は公民館の社交ダンス講座から始まり、八郷社交ダンス同好会として発足して以来十数年が経過しました。

練習会は毎週火曜日、午後七時三十分から九時三十分まで、中央公民館で行っています。上野修一さんの指導のもと、楽しい雰囲気練習しています。また、ダンスパーティーに参加して他地域との交

流を図ったり、同好会主催のチャリティダンスパーティーを年一回行ったりしています。

高齢化社会の現在、若さと健康を保ちボケ防止に最適かと思っています。みなさんのご参加をお待ちしています。現在、会員は十五人、会費は一月千円です。入会条件は特にありません。初心者の方も大歓迎です。

◆代表者 高橋房子さん

連絡先 大字小幡三二四二

☎四二一三五〇六



手作りで籐の美しさを表現

籐工芸同好会

籐やあけびのつるなどを使って

大小さまざまなものを作って楽しむ同好会です。例えば、パン皿・くだものかご・鉢カバー・脱衣かご・イス・ランドリーボックスなど自分の好きなものが作れます。

なんととっても、籐工芸の魅力は籐のあたたかさや素朴さを生かして、自分で作る手作りの良さにあります。丹精こめて作った作品

は、自然と愛着がわき、生活にも

潤いが生まれます。籐製品がお好きな方はぜひ自分で作ってみてください。

この会は、公民館講座で学んでいた受講生が集まり、十数年前に発足。毎月、第一・三月曜日の午後に中央公民館に集まって、作品を手掛けています。現在会員は十三人で、会費は月千円です。

◆代表者 方部芳枝さん

連絡先 大字大塚九七〇

☎四三二一六〇四



わたしの手料理

チーズ入り春巻き

食生活改善推進員

友部節子(大塚)



〔材料〕むきえび(小) 120g 酒 小1 プロセスチーズ 40g なら 1束 ゆでたけのこ 120g もやし 1袋 ごま油 小2 A(しょうが 汁 小1 かたくり粉 大1 しょうゆ 大1 水 大1) 春巻きの皮 8枚 揚げ油適量 レモン 1/2個 サラダ菜 1株 ミニトマト 8個

《作り方》①えびは酒をふっっておく。にらは3cmの長さに切り、たけのこはせん切りにする。②チーズは細い棒状にする。③①ともやしをごま油で炒めてAで調味し、8等分にして、②をまんなかに入れて皮で包み揚げる。④皿に盛り、くし形のレモンとサラダ菜・ミニトマトを添える。

わが家のアイドル



弓弦

関 龍之輔ちゃん

父 勝之さん 母 貴子さん
平成5年4月22日生まれ

♥家族からの一言

パワーショベルやブルドーザーなどの建設機械が大好き。毎日外で元気に遊び、わんぱくぶりを発揮しています。もちろん寒さもへっちゃらです。

これからも、のびのびと育ってほしいです。

八郷あちろこちら

歴史の散歩道 ⑭

「大杉さま」と祭祀遺跡

恋瀬川左岸の佐久台地には五世紀代中葉に比定される佐自塚古墳が遺存するが、もう一つ著名な文化財がある。それは台端近くに鎮座する鹿島神社と神木の杉である。この杉は古くから「佐久の大杉さま」として親しまれ、崇拝され、樹勢を保って今日に至っている。

この杉は、大化改新（六四五）以降、大和国（現・奈良県）から派遣された人物の後裔が植えたと伝えられている。これが真実であるかどうかは疑問であるが、おそらく、鹿島神社の祭神との関連で発生し、しだいに定着していった伝承のように思われる。神社の創建は、室町時代の應永三十四年（一四二八）十一月とあり、祭神の武甕槌神は江戸時代の元禄十六年（一七〇四）に迎祀されている。元禄期に改めて武甕槌神を勧請したのは、『新編常陸国誌』に

元禄十一年（一六九八）に野田村から分かれて佐久村を形成されたことと見えるので、村の独立の時期と関係があるようにも思われる。

鹿島神社の本宮は鹿嶋市に



佐久の大杉と鹿島神社

鎮座する鹿島神宮であり、祭神は武甕槌神である。この神は、佐原市に鎮座する香取神宮の祭神である経津主神とともに、天照大神の命をうけて国土征定事業に参じて大きな武功を立てたとされ、国譲り神話にすこぶる壮大に描かれていることは『記紀』にも詳しい。

さて、杉の巨木で知られる佐久の地に、いかなる歴史的・信仰的背景により神社が創建されたのか、許される範囲内で推測してみたい。

昭和四十年代後半の頃、神社の北側から八世紀に比定される供献用の須恵質の坏・皿形土器が一括出土している。他方杉の樹齢については、應永期で「すでに千年に近い杉」と言われ、元禄期には「千年を越す巨木」と言われたことが語り継がれている。この出土品と杉との組み合わせは、単に神社の創建に至る要因とされるだけではなく、古代の農耕社会に生活基盤をおいた村人たちの信仰の様相を理解するうえで、不可分の関係におかれているのである。

古代社会の村人は、生活に密接に関係する草木・池泉湖沼から巨樹・巨石・山塊・海洋島嶼にいたるすべ

ての自然現象に畏敬の念を抱き、それを信仰の対象とし、そこに依る神は霊能を発揮するものと堅く信じていた。祈願の内容は、農耕の豊穰をはじめ生活全般にわたっていたことは言うまでもない。神事の執行は屋内と屋外に分かれるが、事実関係を立証でき得る場所は祭祀遺跡と呼ばれている。

これまでに佐久地内からは古代住居跡などの発見例は知られていない。しかし、地内の広い範囲から古墳・平安時代にかけての土器片が採集できることは、そのどこかで集落が構成されていた可能性が窺える。ここに古代集落が存在していたものとして、先にあげた土器と杉との祭祀に関する相互関係を検討していくと、杉の周辺に屋外祭祀の斎場が設けられていた可能性が浮上してくる。つまり、土器は祭祀儀礼の祭器類であり、杉は神霊が降臨する依代の観を示しており、奈良・平安期にかけて営まれた祭祀儀礼に縁故の深い遺跡として肯定されてくる。となると、祭祀儀礼の対象は何であったのだろうか。

いま現地に立つと、筑波の峰から足尾・加波へと連なる美しい山並みが望まれる。当時の人々も、この雄大な自然に対して少なからず畏敬の念を抱いたことであろうが、もっと身近に対象を求めるとすれば、それは「水」に関わる可能性が最も大き

いと考えられるのである。

現在、佐久台地の西方に占める八重地区との間には、恋瀬川を挟んで幅二百mに及ぶ沖積谷が形成されている。沖積谷は言うまでもなく広い水田地帯をなしている。当地の集落は、水田を維持・管理していくために谷の両岸に接する台地上に営まれていた。現在でも谷に面して立地する各集落を概観するとき、基本的には古代の村人たちの対応と変わっていないことが指摘できるとともに、そこに生活拠点を置く人々の願いは、昔もいまも風・水害などの自然災害によって実生活が脅かされ、その苦渋は極力避けたいとする心情であろう。

東国においては、江戸時代に移る頃までの河川管理の実態は極めて粗末なものであり、河川に沿う低地帯はたえず洪水の危険にさらされていた。こうした状況の中で、時期は江戸時代の前半の頃と推定されるが、恋瀬川上流域の太田・中戸・水見・大塚・小塙の五か村で恋瀬川の築堤工事を行っていることが『新編常陸国誌』に見える。これは広域的な堤防工事とは異なり、川筋のごく限られた地域を対象としているために、防災上どの程度の効果を発揮し得たのか、疑問視される。

古い時代の恋瀬川は、固定された流路はほとんどなく、沖積谷の中に自然的に発生した低湿地や沼・池などの凹地を流れ、蛇行しながら南流

するのである。これが台風や雷雨などで限度を超える降水量に見舞われた場合、そのつど耕地を抱き込んで分流・乱流の状況呈し、農作物に甚大な被害を及ぼしていたことは十分に想像できる。とくに、八郷盆地の北部では、本流に合わる有明川及び上山沢の谷から流出する水量に加え、長堀先で稲荷川が合流することから、流水はさらに膨大な量に達したであろう。ところが、盲目鬼付近では東から高友丘陵が張り出すために、その地形的な制約をうけて沖積谷の幅は極端に狭隘となり、水の流れは減速し停滞してくる。そのはげぐち付近に位置する佐久及び八重の周辺域では、集中する流水とその停滞現象によって、あたかも湖沼の如き観を呈していたかとも想定される。

水は耕土を潤す糧となる反面、悲惨な水害をもたらす。佐久地内での祭祀儀礼のねらいは、水に寄せる集落全体の願望を神の靈威に託することにあった。そして祭祀執行の場は長く聖地として継承され、やがて社殿の創建に至るのであるが、社名は後世に付けられたものである。古い時代にあつては、古典神話に水を主宰した神として知られる「弥都波能売大神」などの「水神」を勧請していたのではあるまいか。

八郷町文化財保護審議会委員

西宮一男



山崎 桜井浩司(小3)

大増 高橋美貴 (10)



私も

ひとこと

八 郷あちらこちらの中で、行ってみたいと思う所もあるのですが、場所がわからないときがあります。

できれば地図なども入れてほしいと思いましたが、いかがでしょうか。

下林 母より

✿ 八郷あちらこちらを、興味を持って読んでくださるみなさんに、本文に関係する場所の案内図などを合わせて紹介できれば、より親切であるとは思いますが、紙面の都合でできないことをおわびします。

広報係へ問い合わせくだされば、場所の案内などは握できる範囲でお答え

評 日本教育書道連盟審査員 岩 波 芳 水

小幡小一年 高橋 ゆか

ゆび

小幡小二年 関 やすのり

わけが

大きく堂々と元氣よく、とてもよく書けています。

のびのびとして、形も良くなりたいへん上手にかけました。

したいと思います。

広報係

い つも楽しく読ませてもらっています。

八郷町中央公民館での公開講座等の種類を多くしてください。よろしくお願いします。 東成井 倉田 幸子(39)

✿ 公民館の講座は、今年度十八講座開設しています。希望者数、講師の問題で種類によって難しいものもあります。できる限り興味をもってもらっていただけるものを考えていきますのでご理解ください。 中央公民館

オアシス標語優秀作品紹介

最優秀賞 「おはようと親子で言えたね第一歩」

山崎 青木 利一

優秀賞

「早朝のおはようの声さわやかに」

小幡小六年 藤田 浩和

同

「あなたとの心の掛け橋『ありがとう』」

園部中二年 石井久美子

同

「すみませんすなおな心が笑顔うむ」

山崎 中川 保洋

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 95

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①表紙でこどもたちが指導を受け
ているのは何ですか。

- (A) 点字 (B) 手話
(C) 通訳

②文化財防火デーは1月何日でし
ょうか。

- (A) 1月1日 (B) 1月15日
(C) 1月26日

③町民マラソン大会は今回で何回
目でしょうか。

- (A) 19回 (B) 15回
(C) 10回

〔応募の方法〕

☆ハガキに広報クイズ95と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入園券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成8年3月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙4月号

〔広報クイズ93の当選者の発表〕

正解は1-C、2-B、3-Bでした。

応募総数30通、正解23通の中から
次の10名が当選しました。

生田目小百合(下青柳) 竹熊恵美
(下林) 越村恵美子(真家) 市村
志つ(小見) 倉田幸子(東成井)
桜井浩司(山崎) 山口節子(上林)
小原とく(片野) 服部浩之(真家)
田口ふみ(片野) [敬称略]



真家 グリンピース



小見 荒木美香(10)



佐伯比呂

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

木蓮の筆先に似し冬の芽は春と言う字を書く如く見ゆ

東成井 鴻巣益子

父母の愛受けて我着し振袖を吾が子に着せて里を訪ねる

山崎 荒井幸子

お供えの上に載りたる橙の色艶めきて松の内過ぐ

東成井 小島せん

俳句

綿引鼓峰選

吹かれ来て庭に遊べる寒雀

瓦谷 山崎けい子

千波湖の面かすめて空つ風

山崎 安達利男

木枯に連れ去らること夫急死

弓弦 助川くに

俚謡

鈴木弦月選

夜半の嵐が運んだ落葉愚痴も飛び出す今朝の庭

大塚 友部 ゆきえ

福が転がる吾が家の座敷家を継ぐ子が豆をまく

竜の口 飯村 古郷

子年迎えて吾が世の春と夜を騒がし嫁が君

戸ノ内 白田 正源



消防団春季点検 現在出初式
当時団員は一、五八五名、動力ボ
ンプ三台、腕用ポンプ二九台と
いう装備でした。

(昭和三十三年三月)

やさとメモリー

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)

文化財を火災から守る

文化財防火デーの一環として、二月二十八日国指定の文化財になっている太田の善光寺楼門で消防訓練がありました。文化財防火デーは、昭和二十四年一月二十六日、法隆寺金堂壁画を焼損したことを教訓に、毎年一月二十六日を防火デーに定め、火災や災害から文化財を守る意識の高揚が全国的に図られています。訓練には、八郷消防署はじめ、消防団第四分団、氏子代表の皆さんおよそ百人が参加、火災発生の通報や消火栓の取扱い、放水などの訓練を行いました。



間伐や枝打ちのポイント学ぶ

一月二十六日、上尊竹沢地内のひのき林を会場にして、間伐や枝打ち技術の講習会が開催されました。県南地方総合事務所、県南林業会、霞ヶ浦流域森林・林業活性化センターが主催して行われたもので、町内をはじめ県南地域の市町村から山林を所有している皆さんおよそ百四十名が参加しました。

講習会では、省力化を図るための自動枝打ち機や搬出作業車などの実演もあり参加された皆さんは、熱心に説明に耳を傾けていました。

新成人の門出を祝う成人式

ことしも成人式が一月十五日、中央公民館で盛大に行われました。ことしの新成人は四百七十六人、そのうち式典には三百四十六人、約七割が参加しました。式典では町長はじめ、地元選出の県議

会議員、教育委員長、町議会議長らがお祝いの言葉を述べ、晴れの門出を祝いました。会場には、晴れ着姿の女性やスーツを着た男性の姿が目立ち、華やかな雰囲気包まれていました。



ときめき
ティータイム

助川朋江(小幡・20歳)さん

スキーを始めたので、滑りに行くのが楽しみです。休日は友だちと出かけることが多いですね。



■訂正 一月号の「まちの話題できごと」で紺綬褒章を受けたヤサト興産株式会社が「億円を町に寄付をしたのは、昨年の六月十五日となっていました。訂正しておわびいたします。





優良農業後継者二人を表彰

町の優良農業後継者の表彰が一月十七日、役場議会会議室で行われ、優秀な後継者二人が表彰されました。この表彰は、町の農業後継者の育成推進のため、町農政活動推進本部が毎年行っているもので、こととして十七回目です。今回表彰を受けたのは次の方々です。

○長谷川博（須釜） 梨

○本田裕二（真家） 柿・チューリップ

受賞者のみなさんは、厳しい農業事情のなか、それぞれ積極的に農業に取り組まれている方々で、これからの活躍が期待されます。

なお来月号から、受賞者のみなさんの農業に取り組む横顔を紹介していきます。

コンサート余剰金で車椅子寄贈

昨年、十二月三日に開催されました社会福祉チャリティー・ジョイントコンサートについては十二月号で紹介しましたが、このほど実行委員会では、そのコンサートによる余剰金で車椅子十五台を購入、町社会福祉協議会へ寄贈しました。

一月十二日、実行委員のみなさん八名が役場を訪れ、社協会長の桜井町長に贈呈されました。町長は「みなさんの温か

いご厚意に感謝します」とともに、十五台の車椅子は大切に使用していただきます」とお礼の言葉を述べました。

社会福祉協議会では、さっそく車椅子の配分を検討、中央公民館一台、保健室三台、役場二台、フラワーパーク五台、社会福祉協議会貸出し用として四台など、それぞれの施設に備えて、有効に利用させていただくことにしました。

スキーっておもしろいね

町教育委員会主催の少年スキー教室が一月四日から六日にかけて、あだたら高原スキー場で行われ、小中学生七十六人が参加しました。

教室は七、八人の班に分かれ、八郷スキークラブの指導員のコーチを受けまし

た。そのかいあってか最初はおそろおそろ滑っていた子どもたちも、だいぶ上達し、スキーのおもしろさを満喫していました。



町のほとんどが専業農家だったころ、田植えや稲刈りの時期は、隣近所の人々が手伝ったり手伝われたりして助け合いました。また、地域の人たちが集まる寄り合いなどが今よりずっと盛んでした。

現在、サラリーマンが多くなり隣近所の人と顔を合わせることも少なくなりました。

かくゆう私も近所の付き合いなど、面倒だと思っていたのです。しかし、いざというとき協力してくれるのは近所の皆さんです。例えば、お葬式などはその典型的なもの。その他にも地域の清掃など、みんなで力を合わせれば短時間できれいにすることができま

す。こういった地域の共同体的ことをコミニティーと呼ぶそうです。最近、こういったコミニティーが見直されてきています。コミニティー活動が活発になる、つまり行政区などで独自に行うことが増えてくるということは、町の活性化につながります。

近所づきあいを見直してみませんか。面倒なところもありますが、うまく付き合っていければなかなか楽しいものです。（武）

町民マラソン大会

それぞれのコースで 1,000名が力走

ことしで19回目を数える町民マラソン大会が、1月28日総合運動公園をスタート、ゴールとして開催されました。

大会当日は、大寒の季節にめずらしく、風もなく穏やかな天候に恵まれ、親子ジョギングコースをはじめ、各コース合わせて約1,000名の参加がありました。

なお、結果は次のとおりです。

2kmコース▽(小学3・4女子)

- ①鬼沢美穂(小幡小) 8分2秒28
②大場康恵(瓦会小) ③久保田優美(林小)

▽(小学3・4男子) ①松下慎吾

- (吉生小) 7分3秒47(コース新)
②飯田直人(小幡小) ③石井優也(吉生小)

▽(小学5・6女子)

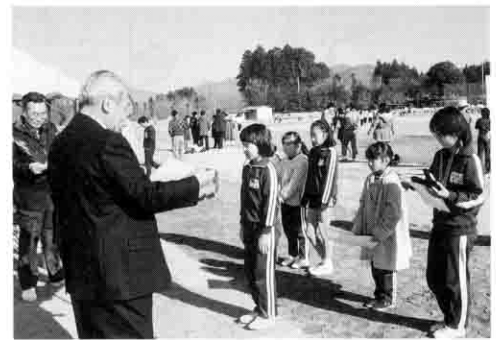
- ①酒井淳子(朝日小) 7分21秒17
②山崎ゆかり(林小) ③中嶋純子(小幡小)

▽(一般女子) ①大場

- 潤子9分16秒(コース新)
3kmコース▽(小学5・6男子) ①岡野重和(恋

- 瀬小) 11分37秒85
②原田友和(小幡小) ③高橋直樹(柿岡小)

- ▽(中学女子) ①伊藤佳代子(園部中) 12分15秒85
②寺田祐子(園部中) ③岡崎めぐみ



(柿岡中)

- ▽(壮年男子50歳以上) ①仁平森義12分54秒
②笹沼登5kmコース▽(中学男子) ①鬼沢

- 祐二(園部中) 16分29秒96
②本田勝通(園部中) ③田上剛志(柿岡中)

- ▽(一般女子) ①佐藤裕美25分59秒13
▽(一般男子) ①菊地功17分40秒

- ②駒場一吉 ③伊藤勇
▽(壮年男子40歳以上) ①伊藤政

- 男17分59秒61
②根本善宣 ③小松崎武
10kmコース▽(一般男子) ①三輪

- 功32分18秒
②小松崎一郎 ③久保田啓一(敬称略)

毎年大会には、中学生たちが積極的に参加しているのが目立ちます。次回の記録更新に向けて、これからも練習に励んでください。

花と緑の楽園 茨城県 フラワーパーク

園芸教室

春バラの剪定

休眠期間中のバラは、消耗が少ないので移植や植え付け、剪定や誘引などの作業の適期になります。

二月に入ると地中では根が活動し始め、芽がふくらんできて、良い芽が見分けやすくなります。

そのため二月中旬が剪定の適期とされています。この春剪定をした場合としない場合では、株自体の生育や、立派な株を作るための作業に、大きな違いが出てきます。

春剪定は前年の春に一番初めに伸びた枝(一番枝)を前々年の枝より少し上のあたりの充実したよい芽で切りつめます。切る時は株の外側を向いた芽の上五ミリぐらいを残して切ります。切る枝は、細枝、未熟枝(秋遅く出て若葉の付いた枝)、枯枝、また病気等で幹が変色しているものも健全な所まで切りつ



めます。次に老化して上部に良い枝が出なくなった太い幹を根元から切り落とします。ただし、前年の春以後に地際から伸びた太枝(シュート)が二・三本出ていれば古幹は切り除き、シュートに咲かせるようにします。ふくらみ始めた充実した芽が残るか確かめて切りますが、春の剪定は、少し切りすぎたかなと思うくらい深めに、周囲についている芽の一番充実したよい芽を選んで思いきり枝を切りつめます。

ただし、背丈以上に伸びすぎて、樹高を低くするために、幹をすべて根元近くで剪定した場合、根元近くは古い幹なので、芽が出ない場合が多く、花が咲かないことがあるので注意します。剪定は良い花を咲かせるための第一段階の作業です。